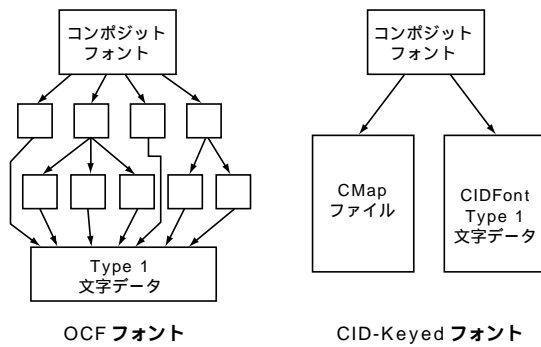




アドビシステムズ株式会社 新しいフォント技術を発表

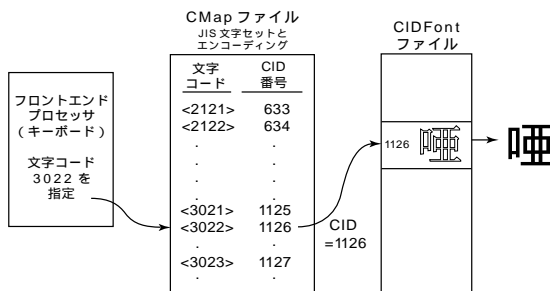
【1996年3月11日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：木村 八郎）は本日、新しいフォント技術であるCID-Keyedフォントファイルフォーマットによるフォント製品の発売を発表しました。



このCID-Keyedフォントファイルフォーマットは、現在流通している Adobe® Type Library の和文フォントが採用している OCF (Original Composite Font) フォーマットに比べて、ファイルの構造がシンプルになっているため、ファイル容量が約20%減少し、アウトラインフォントのラスター化速度も向上します。CID-Keyedフォントファイルフォーマットの Macintosh™ 版フォント製品は、1996年夏に発売が予定されております。

なお、本製品からは従来低解像度の範囲が600 dpiまでとなっていたものが、1200 dpiまでとなります。



キーボードからJISコードの3022を指定すると、CMapファイルでCID番号の1126に割り付けられ、該当する文字をCIDFontファイルから呼び出します。

CID-Keyedフォントファイルフォーマットの名称は、フォント内の文字のインデックス付けとアクセスに使用するCID (Character ID)番号に由来します。「JIS 78やJIS 90、旧字体など」文字種の多いフォントにおいて、この方法はType 1欧文フォントなどで行われる文字によるアクセスよりも効率が良くなっています。CID-Keyedフォントファイルフォーマットは、ファイルの構造だけを定義したフォーマットですので、中に収める文字は、アドビのType 1フォントフォーマットを使用しています。



CID-Keyed フォントファイルフォーマットは、CMap ファイルと CIDFont ファイルから構成されています。アウトラインフォントの記述と、それを変換するために必要となるヒント情報などを含んだファイルが CIDFont ファイルです。CMap ファイルは、JIS などの文字エンコーディングと CID 番号を対応させる役目を持っています。

Macintosh 版フォント製品は CD-ROM とインストーラを収めたフロッピーディスクで供給します。システムにインストールするためのフォントファイルは、従来のスクリーンフォントにかわり、Adobe Type Manager® (ATM®) で使用するアウトラインフォントと、システム登録用のデータを統合したものです。従来、システム上には書体のスーツケースフォント、丸漢フォントと、Adobe Type Manager 使用時にはアウトラインフォントが必要でしたが、今後は、1つのスーツケースフォントと1つの丸漢フォントで済みます。また、スーツケースフォントには、文字の詰め組み情報と字体の置き換え情報が含まれています。

この新しいフォント技術である CID-Keyed フォントファイルフォーマットの情報を利用する新しいアプリケーションソフトウェアとして、アドビシステムズ株式会社では、Adobe PageMaker® 6.0J、Adobe Illustrator® 5.5J を発売いたしております。これらのアプリケーションではそれぞれの書体ごとに最適な文字幅の字詰めを実現し、また、Adobe Illustrator 5.5J では字体の置き換え（異体字切り換え）の機能もサポートいたしております。